昭和廿一年六月一日
（第三種郵便物認可）
昭和二十一年十二月十九日　夕刊
いわき民報社
（木曜日）
第二百三號

いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町一番地　電話三八一番
發行兼編輯印刷人　千輝克己
日刊　但月曜日を除く
定價　一ヶ月五円　一部二十錢

性病科
内科
矢吹醫院
平市鎌田町
電八二八番

指令一下即時ストへ

教組平支部鬪爭態勢を强化

民主鬪爭委員會へ正式加盟

「最悪の場合は」

去る六、七日の兩日白河町の總會で愈々スト態勢を決議した縣教組の行動に即應し平支部では十七日午後一時から磐女講堂に鬪爭態勢强化臨時總會を開いた、會する者三百余名、開會宣言に續いて議長、書記の任命、經過報告の後磐城民主共同鬪爭委員會、國鐵、縣教組本部、平市役所、全遞、石城教組支部等各勞組のメッセーヂを受けて質疑應答、議案の審議に入りスト体勢强化策として指令一下全教員ストに入る前提の下に從來の保護者會へはそのまゝ應援を受けると共に獨自の立場で運動する事とし、青年行動隊へは沖野、大和田兩君を派遣、政黨へは平等に鬪爭を申入れすると共に磐城民主共同鬪爭委員會へも正式に加入する事に決定最後に磐中渡邊氏の宣言、決議文の朗讀の後スト態勢に突入した

宣言

田中文相は我等が要求の公明であり正當であると認めながらその要求を容れないのみか小數派に應援し現勢確認さえ錯誤を來たし今や極めて憂慮すべき段階に到達した、我等三百有余の組合員は強靭なる團結を以て縣下一萬一千の同志も提携し更に全國三十五萬の同志と共同し要求貫徹の爲最後まで鬪ふことを茲に宣言する

決議

一、我等は要求貫徹の爲最後まで團結を誓ふ

一、我等は我等が選びたる鬪爭委員をあくまで信頼し我等も自主的に苛烈なる鬪爭に參加する

一、我等は友好的民主團体と緊密に連繫し共同鬪爭を展開する

一、我等は最後の段階に至るまで教壇を守り堂々たる鬪爭を繼續する

一、我等は最悪の場合には指令一下一齊罷業を決行する

新委員長に金賀氏

濱地區共同鬪爭委員會改組

名稱も磐城民主鬪爭ご改稱

電産鬪爭應援を機として結成運動中の濱通地區共同鬪爭委員會では從來委員長が日進黨の新妻清一郎氏であつた關係上、兎角政黨の選擧地盤の足場の様に誤解され且つ組合の自主性が設却されがちにあつたので之が改選を企圖十一日役員會を開き組織勞働者自体を以て組織する事に決定十六日正式に前委員長新妻氏と引継ぎを終了名前も磐城民主共同鬪爭委員會と改稱、委員長に國鐵總聯中央委員である平檢車區の金賀敏彦氏を推し本部を平驛國鐵平地區協議會內に置き新らしく運動を展開することに決つた

▼委員長金賀敏彦（國鐵）▼副委員長關內三夫（日炭）▼總務部長鈴木新平（國鐵）▼調査部長上坂昇（日紫）▼宣傳情報部長三浦嶽夫（全遞）▼組織指導部長田子英夫（吳羽）▼作戰指導部員三浦嶽夫

選擧に際し心得べき事

地方事務所から各農地有權者へ

石城地方事務所では新しい農村建設に挺身するよう全農民有權者に法の徹底をはかつているが各町村に左の注意を喚起している

▲市町村では宣傳ビラを役場の掲示場に掲示すること

▲公職追放令に該當するものは立候補しないこと

▲選擧は世帯主ばかりでなく同居の戸主及家族は全部あり男女を問はない

▲地主、自作、小作はそれぞれ自分の屬している候補者に投票すること

▲入場券及び投票用紙は地主赤、小作青、自作白と色分けしてある

棄權は無自覺の表現

重大な農地委員の持つ役割

農村の民主化を推進する市町村農地委員の選擧は二十日を期して行はれる、委員數は一市町村地主三名、自作五名、小作二名計十名でこれにより郡內では三百二十名の農地委員が生まれ各市町村農地委員會は今後農地の買收計畫や賣渡し計畫をたてるほか小作料の統制、農地の交換分合紛爭の解決など重要な役割をはたすことになり期待するところ頗る大きいものがある、然し一般にやゝ低調氣味であるのは遺憾で、この際奮つて投票すべきであらう

バラツク建賣家
建坪　七坪
至急讓渡委細面談
平土地住宅有限會社
（電二〇二・九一二）

急讓
挽馬（東共）
至急讓渡希望者面談
平土地住宅有限會社
（電二〇二・九一二）

玉代値上げ

市內料理店組合では去る一日から藝妓玉代の大幅値上げを斷行した、税込一時間從來の二十圓に比し十[illegible]圓增額の三十七圓に決定

越冬物資を寄越せ

引揚者磐城聯盟縣へ陳情

越冬物資をよこせ——と起ち上つた引揚者磐城聯盟では十六、七兩日に亘つて市公會堂日本間に緊急懇談會を開き、越冬物資對策をはじめ住宅問題等差しせまつた當面の諸問題を協議の結果縣當局に〝越冬物資をよこせ〟とする代表を派して陳情する

食營等へも

決議手交

勞農市民大會が（既報）市內各官廳に決議文を押しつけた常磐地區勞農市民大會

各地でも勞農大會

十九日から三日間に亘り

湯本、小名濱、好間等で

常磐地方の勞農市民大會は既報の如く市內第三校庭に各勞組代表二千五百余名參加して盛大に擧行、吉田內閣退陣要求を決議して大會終了後縣當局に決議文を手交したが、十九日湯本、二十日小名濱、二十三日好間の各地區でも勞農大會を開催することに決定、吉田內閣退陣要求決決議して各關係當局に決議文を押しつけることに決した

古河炭礦も要求を

廿四日迄の回答期限付で

古河炭礦好間礦業所では十五日組合員の臨時大會の決議に依り十六日會社側に二十四日午后一時の期限付で左の九項目の要求を提出した

一、坑內夫五十圓、坑外夫男三十五圓女二十一圓、幼年工十七圓（以上平均給）

一、職員は出炭一噸につき七圓の割で計算現給料に加算する

一、家族手當は礦夫、職員共に一人につき六十圓支給

一、職員には賃金の外に現行支給の級手當と出炭一噸につき二十圓を獎勵金として支給する

一、勞働時間は原則として從前通りとする

市內各校冬季休暇

市內各學校の冬期休暇について市學務課では對策を練つていたが國民學校はじめ青年、中等學校とも一齊に來る二十四日から一月七日迄の十四日間と決定した

市の農地委員候補の顔觸は

二十日の農地委員選擧への市の候補者の顔觸れは左の通り

▼地主代表四丁目猪狩庄平、下平窪江尻忠平、上平窪鈴木政一▼自作代表北目町鈴木良平、中平窪高萩盛男▼小作代表久保町、古田部屋正立町離波功助、上平窪吉田新太郎、下平窪坂本三德、森の內太田德場

小名濱町の町內會長會

小名濱町では十七日町會長會を召集、小名濱港修築、町民税、水道値上げ、引揚者越冬資金造成木炭の空俵回收、火防用水準備等々について協議、指示、最後に金融上の諸問題並に救國貯蓄運動について日銀福島支店次長の説明を聽取した

いわき寸言

○教組の平支部いよいよ最後的スト態勢を確立、民主共同鬪爭委員會へも正式に加盟す

○當然のこととながら教育者は飽迄教育者の立場を脱却せず鬪爭すべしとは父兄側の聲

○農地委員選擧の低調振りに地方事務所は注意を發す、與へられたる權利を自ら捨てる愚を繰返す勿れ

○濱通地區共同鬪爭委員會一切を改組、組織勞務者自体のものとして、名稱も改む最初からかくあらねばならなかつたもの

○藝妓の玉代値上げ、遊ぶ人間はいつも遊ぶ、大いに値上げも結構か

○越冬物資を寄越せと引揚者磐城聯盟縣へ陳情、寒氣の募る今日この切實なこの叫びを市民も聽け

引伸
燒付
現像
24時間仕上
田町磐城病院前
寫眞材料店
タカサワ

工員募集
見習工
製鑵工
鍛冶工
若干名
但し通勤のこと
鑛山用金物製作
ボイラー製作及修理
パイプ配管工事
船舶用金物一式
瓦斯熔接並電氣熔接
古川鐵工所
古川重治
第一工場　平市鍛冶町五番地　電話（呼）五三三番
營業所　第二工場　平市五月町六五番　電話九〇四番

古人を現實に生し
現人を永遠に生す
菊水肖像画院
◇各種畫類と額縁の御用なら
繪ご額　菊水賣店
平市五丁目釜屋隣り（電989）

電話新設
九二一番
新設しました御利用下さい
内郷町大字小島字新町
繊維工場主　遠藤末造

父利部七郎儀永々入院療養中の處藥石効なく十二月十四日午後一時四十分死去致し候間茲に生前の御厚誼を拜謝し謹告仕り候
追而來る十二月二十日午後一時より二時迄自宅に於て告別式相營み可申候
昭和二十一年十二月十八日
平市高城町二〇
嗣子　利部耕一
親戚總代　小坂直松
菅原克治郎

出たぞ！幽靈何と八千

配給人口調査で正体を出す

配給の適正化を期し十一月一日及び十二月一日現在で行はれた人口調査の結果によると郡内だけで配給調査の手違いで幽靈人口と見做されるものが約八千名を數へるに至つたので去る十四日午前十時から食糧營團平出張所で開かれた市町村並に食營關係者の配給人口整備並に主要食糧政府買入事務打合會の席上でも管理米臺帳、町村飯米配給臺帳、十一月一日十二月一日現在人口調査票に基いて徹底的に糾明追求が行はれた、尚食營及び取締り當局では、これら出盛に對しては徹底的メスを加へ今後はどし〱嚴重處斷の擧に出ることに決つた

日農協議會 新陣容

組合數廿一に達す

日農石城協議會は新會長日野利春氏の就任以來躍進をつづけつゝも十四日現在で支部數も二十一ヶ町村に飛躍、幹部組合長も一新 農地委員選擧を前に大童の活躍を續けて居る、役員左の通り

會長日野利春、副會長久保木安雄、吉野義也、會計芳賀會計監査齋藤信義、猪狩勇磨常任書記熊澤鶴元、支部組合長泉（沼田軍司）渡邊（久保木安雄）山田（神永恒治）錦（箱崎直治）勿來（齋藤信義）上遠野（生田吉佐一）入遠野（柳田彦之進）川部（鈴木明）高久（鈴木重郎）江名（吉田長次）鹿島（八代義定）玉川（永山義雄）磐崎（芳賀武）好間（吉野義也）赤井（川井保一）永戸（草野勇作）澤渡（佐藤清意）草野（新妻孫幸）大野（猪狩勇弘）小川（田久敎壹）

急譲
ハーレー側車附
オートバイ
性能好適委細面談
平土地住宅有限會社
電二〇三・九一一番

大道異變

平中　青二

▼志賀君、君の「中學生と自由」を讀んで、僕は本當に嬉しくなつた。大人でも感伏するような堂々たるオン論中正な思想、而も學生らしい純眞さたもつて論じ立てゝゐるところに、無限の信頼感を抱く

▼君は世の燈たり、光たる人物だ。君が上級生になつたら、どんなに立派な學校になるだろうと、今から期待してゐる。どうを今の氣持をスク〱と伸していつてくれ給へ

▼僕は「總べての男學生」が惡いとは、決して思つていないし、又書いた覺えもない。何故なら僕にも二人の中學生がゐるから況んや君の學校を批評したのでもなかつた。また、それまでは研究もしていないのだ

▼僕が書いてゐる事柄は、道や汽車の中などで、見たり聞いたりしたことが多く、いわばアンテナにかかつた電波のようなもので、中には雜音も、デマもあろう。但し、その中で生徒とか父兄とか、比較的に確實と思える人の話の中から、社會問題や道徳問題等を捉えて見ようと言うのが僕のネライだ。而も、正道を歩む人が大部分なのだが、その中の異變、即ち大道から脱線してドブに落ちた人や「道はどうでも良い」と言わねばかりに田の中や、川の中を勝手に歩こうと言う、一寸變つた風景を拾うのが目的。

▼又「主として濱通り一圓の記事を中心に」と註文されて居るが、僕は廣く天下を見渡して筆を動かすので「男學生」とは日本全土にわたることも多い

▼君の記事を讀むと、君の學校に對する不平不滿も大分あるようだが、「眞面目に觀察して助け合つて行こう」日本の昔から大和の力と言われて來た。默つて知らぬ顔をしてゐるのわ協力ではあるまい

▼「無鐵砲は、むしろおぢさん方や、お兄さん方に多い」と言うのは恐れ入つた。反省もし、模範になるような良い行動をとりたいと思つてゐる。

▲勉強も大切だ。僕は運動より下には見ていない。併し、勉強々々と言つても生活を無視した例へば先日、或る學校の父兄が新聞に書いてゐたように、足の踏場もない便所をそのまゝにして置く「自主」的勉強とは果してどんなものか

▼又、君は四五年生が惡いと言うようなことを書いたが、三年生の君の言うことでも正しければ通るのが民主主義の本領だと思うがどうだ。眞理の前には一切は平等であり、愛校の精神の下では上級下級の差別は消滅せねばならぬと信ずるが如何

▼とに角、君の思想にふれて、僕は本當に賴母しく思い、愉快になつて會つて見たいとさえ思つてゐる。御議論のつもりで書いたが、足らぬところも多かろう 許されよ

江名上水道 修覆工事

總額卅三万圓で

江名町では堰堤の漏洩等から折角の上水道も極めて心細い狀態となつてゐるので、江の浦埋立工事の井上末春氏を技師として招聘、修覆工事の設計を依囑中だつたが、いよ〱總工費三十三萬圓で根本的修理を斷行することに決つた、尚工事費は一般の寄附に俟つことになつてゐる

萬年筆大量入荷、
岡萬年筆店
平三　電三九九

賣土地
敷地百坪（材木町）
要急分讓致します詳細面談
平土地住宅有限會社
電二〇三・九一一番

難工續きの第一校

夫でも年内に建前の見込み

平第一國民學校の復興工事は基礎工事及び土臺も完了、一部松材其他の輸送難で今月初旬の建築は遲れたが、會津方部の松材の入荷により遲くも今月末に完了の見込となり、請負の三幸建設工業では來春からの兒童を收容すべく雪に挑んで居る、市役所復興課にもたらされた報告に依ると三幸建設工業では請負と同時に熱海町荒町二滑及中山に八月來五十人の人夫で伐採中の處十月、十一月に入つて雪國特有の冬籠りの爲、出動人員も減少、現在では十人程になつたので、市役所の應援の下に復興課員及び市自動車の協力を得て滯材の一掃に大童となつてゐる、同所は既に十一月から降雪、十二月初旬は積雪二尺五寸を示し自動車のエンヂンもかゝらぬ始末である搬出材は荒町方部四千石の中既に二千石を搬出、伐採したもの六百石山下積二百石を有してゐる

擂鉢や火消壺 市販の半値で

正木門七氏義擧

市配給課に市販の半値で擂鉢（十圓）八百四十個火消壺（十圓）三百七十個が入荷された、右は錦村大倉出身で土木建築請負を營んで居た正木門七氏が市の日用生活必需品が高値なのを遺憾として私財を投じで地方物價下げの捨石を覺悟その手始めに配給課に委託したもので同氏は市靑果物直賣所横三十五坪に二十万圓で食堂建築や丹後澤の遊園地化も計畫中

農地委員の噂の人々

小名濱町未だ低調

小名濱町農地委員選擧は二十日に控へて未だ名乘りを擧ぐるもののなき狀況だが定員十名に對し九名宛の割當を協議し選擧に入る模樣で今日までの呼び聲の高いのは地主側三名に對して丹治治、小野務平、丹野政勝、小泉忠文氏等、自作者側二名に對しては吉田昭之助、松本義、駒木根忠三、西丸一氏等又小作者側五名に對し小野勝朗、鈴木茂雄白澤庄藏以下未定氏等である

水道の凍結に萬全の注意を

例年になき十二月初旬の初雪は米の豐作と相俟つて嚴冬を豫想されるが市の水道課では凍結期の渇水と破損に對し同年は修理材料も油とハンダ類のみでパイプ類は殆んど皆無の狀態なので破裂しても修理の見込がつかないので各家庭の保溫裝置の万全を要望してゐる

—映畫紹介—

—◎松竹作品◎—

鯉名の銀平

今週の平館

男一匹、度胸のよさも義理には勝ちぬ旅鳥長谷川伸原作の雪の渡り鳥の映畫化、脚色演出は衣笠貞之助、カメラは杉山公平、主演は長谷川一夫

【配役】

鯉名の銀平	林長二郎
爪木の卯之助	高田浩吉
お市	飯塚敏子
お市の親五兵衛	志賀靖郎
大鍋の島太郎	山本冬郷
帆立の丑松	坪井哲
心刀一刀流の先生	新妻四郎
岩角の多治郎	山路義人

【梗概】

帆立の丑松が下田の相模屋に消り込んで居ると知つたのは、駄菓子屋の親父五兵衛であつた彼は顔役大鍋の許へ、丑松が渡世人を集めて喧嘩に來たと告げた。

話を聞いた身内の猪の權太が無斷で相模屋に斬込んだが、用心棒に斬られた、五兵衛の娘お市には大鍋身内の爪木の卯之吉と鯉名の銀平が戀してゐたが、それと知らぬ五兵衛は卯之吉に娘をやると約束濟であつた。

今度の出入には銀平が機先を制して帆立一味を敗走せしめたお市と卯之吉の仲を知つた銀平は卯之吉を一家にと思つたが、後に戀しむお市を思ひ、卯之吉を救つて戀も恨みも捨てゝ下田を去つた。そして幾年。思出多い下田の町に銀平は戾つて來たが、港には船改番所と建てられ帆立がお上の御用を開いてゐた大鍋一家は滅亡を聞き墓標に涙する銀平も丑松身内に感付かれ、今は堅氣の卯之吉一家も大鍋の息がかゝつてゐるので立退を迫られ、拒むお市を病床の五兵衛はなだめすかした。心に銀平を戀つてゐた卯之吉は決心してお市に離縁を迫り止める五兵衛を振切つて表へ駈出した。この騒ぎを聞いたお市と銀平はかけつけた、そして卯之吉が丑松へ、駈け込み丑松を一刀に斬り下げた時、銀平がかけつけ身内をなぎ仆した。そて銀平は卯之吉を庇ひ彼の罪を被た。

電話新設
九九一番
時計・眼鏡・指輪
喫煙具・万年筆
山崎時計店
平市五丁目一七

◆京染部新設◆
新柄各種見本取揃へました一般更生品染色加工を御用命願ひます
機械完備
京屋染工場
平市南町大通り

皆樣のお樂しみを!!
キングレコード
家庭染料　みゆき染
有名化粧品。陶器洗劑。[illegible]
玩具。文房具。レコード針。甘味料
山吉商店
平市四丁目　電二六八番

カフェー
殿堂
マツバ
◎美人女給
◎至急入用
宴會に御利用下さい
小名濱町濱町

新設
裁斷速成科
ドレスメーカー　杉野芳子先生裁斷法
期間　二ケ月
入學　毎月始
規則書御申込次第お送り致します
平市古鍛冶町公園踏切際
シスター洋裁研究所
◇助手二名募集◇
但し未經驗者に限る

麻雀クラブ
湯本町三函座前
開花莊

障子、雨戸
其他建具類
◆大量受註◆
格安提供致します
多少に不拘御相談下さい
平土地住宅有限會社
（電一九一・二〇三）

永らく電氣工事を休んでいましたが店員復員に付き電灯工事も開始致しましたから何卒御下命の程を願ひ上げます
平驛前　電四九六番
富永ラジオ商會
店主　富永一郎